

# 福島県耶麻郡磐梯町

## 1 政策づくりと監視機能を十分発揮している議会

### (1) 監視機能の強化

町長部局の各種諮問機関の委員として、議員の充て職就任が慣例的に行われてきたが、段階的になくしていく方針を平成23年の議員全員協議会で決定し、一部の充て職就任を廃止した。

### (2) 議会運営委員会の充実

議会運営の改革や活性化の取り組みを議会運営委員会において調査研究している。会議開催の周知方法や傍聴の取り扱いをはじめ、近年では議会基本条例や通年議会の取り組みについて研究するため、積極的に先進地視察を実施している。

### (3) 常任委員会の充実

平成19年から議員定数を10人とし、総務文教厚生委員会と経済環境委員会の2つの常任委員会を設置している。基本的にすべての議案を常任委員会付託としており、各5人の委員により1件1件の議案を詳細にわたり調査し審査している。

### (4) 一問一答方式の採用

一般質問においては、議員側に質問席を設置し執行部との対面とし、他の町村議会に先駆けて平成12年から一問一答方式を採用している。質問者の発言時間を30分とすることにより、同じことをくり返し質問することを避け、簡潔に質問を絞りながらも内容を掘り下げた深い追及が行われている。

## 2 住民に開かれた議会

### (1) 議会だよりの充実

広報誌（議会だより）の創刊は昭和37年で、他の町村議会と比べてかなり早い創刊であり、平成24年11月には210号を数える。編集には委員4名で構成する議会広報委員会が当たり、定例会の報告として年4回と新年号を発行している。研修会には積極的に参加し、先進地の視察調査も行っている。長年にわたり最終ページに掲載していた各種日程の記事を取りやめ、平成24年度から町民からの意見を掲載する「みんなの声」を新設した。また、平成19年からのバックナンバーもホームページから閲覧することができる。

## (2) 定例会と一般質問の広報

定例会開催日程と一般質問の各議員の質問項目についてのお知らせを、町内全戸に設置されているテレビ電話にて画面で確認できるよう広報し、ホームページにも掲載して、会議の傍聴を呼びかけている。さらにテレビ電話やホームページで見る環境にない世帯のために、新聞折り込みでも配布している。

## 3 地域振興のために特別な取り組みをした議会

### (1) 資質向上の取り組み

議員の資質向上と議会運営の活発化のため、研修会へは積極的に参加するよう取り組んでいる。各自が個人的にも私費で各種セミナーや勉強会に参加している。また、会津耶麻地区の町村議会議長会の構成4町村において毎年研修会並びに交流会が開催され、全議員が出席している。

### (2) 国際交流への取り組み

町はカナダ国オリバー市と20年以上にわたり姉妹都市交流を実施し、数年ごとに親善訪問交流を行っている。議会議員も毎回2～3名が参加し、教育、文化、経済等について調査し、政策提言の活動に活かしている。

### (3) 再生可能エネルギー活用の取り組み

地球温暖化対策と昨年3月の福島県における原発事故を受け、新たなエネルギー基本計画における再生可能エネルギーの活用について調査研究し、公共施設等の電力供給を推進するため平成24年に特別委員会を設置した。月2回以上の会議やセミナー、シンポジウムへの参加、先進地視察を重ね早期の政策提言を目指して鋭意取り組んでいる。